

甚目寺北児童館

【活動内容】

- 遊びを通して健全育成を図り、かつ保護者支援に努めた。
- ・乳幼児親子対象に親子の関わりやお友達同士の関わりを持てるような活動や製作、ただ作るだけではなく作った物で遊ぶ事ができる活動も企画、実施した。
- ・保護者とコミュニケーションを取りながら子育ての不安や困り事を聞いたり相談にのったりした。
- ・小学生行事については、自分で選んで参加できるような募集をかけ、季節にちなんだ製作、思考力を発揮できるよう行事を企画、実施した。
- ・ボランティア活動に結びつくような関わりや、体験できる場を作った。
- ・配慮が必要な子に関しては遊び場（居場所）を提供したり、必要に応じては関係機関との連携を取ったりした。

【反省・課題】

- ・来館者同士、保育園、幼稚園、年齢に関係なく交流を持つ事ができた。又、小学生と乳幼児との関わりも増え、思いやりの気持ちを持ったり乳幼児の保護者との関わりを持ったりした。
- ・自由来館の中でも児童館のルール、人に対する関わり方を理解してもらい心がけると子ども同士でルールを伝えたり、善し悪しを伝えたりする様子が伺えた。
- ・コロナ禍ということでお年寄りとの交流する機会が少なかった。
- ・行事などのお知らせを学校に発信したり掲示物などで募集をかけたりしたことで、自分から「これをやりたい。」「こんな風に工夫したらこんな感じになった。」などという声が聞けるようになった。

【次年度へ向けての方針】

- ・ボランティア活動も少しずつ浸透しつつあるが、継続的に続けていける様な体制を考えていかなければいけないと考えている。
- ・自由来館と自由に遊ぶという事の意味を間違えて行動してしまう子にも信頼関係を築きながら善し悪しを考えてもらう様に働きかける。
- ・自由来館の中で孤立している親子や子どもに対して架け橋になる様声かけをし、「楽しかった！また利用したい。」と思ってもらえる様な行事を企画したい。
- ・満足度、安心感が得られるような場を提供し、今後も幼児親子・小学生・老人とのふれあいができる行事を行い、利用者同士が交流できる様に繋げていきたい。